

きずな協働体通信

市内8地区の「きずな協働体」の活動やイベント情報を紹介します！

広域観光拠点として施設を整備しました



令和3年度小林市元気なまちづくり支援補助金を活用

県内外の観光客でにぎわい、地域で親しまれる霧島岑神社のふれあい広場(駐車場)に、「広域観光案内看板」と「公衆トイレ」を設置しました。広域観光拠点として、市内や霧島・西諸地域などの観光地と連携し、相互に誘引する広域観光周遊ルートになることを期待しています。

さらに、通学路やウォーキングコースの一部として利用していただき、地域住民の安心と健康増進への意欲向上にもつなげていきます。近くに來られた際は、ぜひお立ち寄りください。

細野まちづくり協議会では、今後も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、高齢者から子どもまで楽しめるさまざまなイベントを企画・開催し、地域のにぎわいを創出していきます。

細野
まちづくり協議会

輝け
フロンティアのじり



野尻のびのび子育て支援センター Tel 44 - 1881

子育て支援センターに遊びに来ませんか？

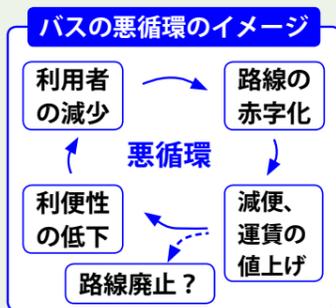
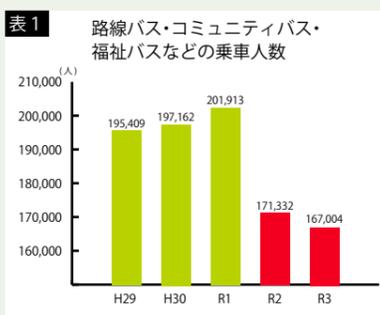
輝けフロンティアのじりが委託を受けて運営している「野尻のびのび子育て支援センター」は、親子で一緒に遊んだり、子育て仲間同士が出会える場です。子育て中の親子なら誰でも利用できます。子育てを応援するスタッフがお待ちしていますので、気軽に利用ください。

また、希望する家庭には楽しい講座や行事予定を掲載した「子育て通信のびのび」を毎月送付しています。興味のある方はご連絡ください。

利用日時
月曜～土曜(祝日は除く)
9時～12時、13時～16時

場所
小林市野尻町東麓2166・2
※野尻保育園の隣

主な行事
誕生会、育児講座、わくわくタイム、ふれあい広場など



公共交通の今と「未来」
乗ってみらんね バスの現状

利用者はピーク時の15分の1以下に

かつて年間300万人以上が利用していた市内を走るバスは、少子高齢化や自家用車の普及により、利用者が激減し、路線廃止や減便が進んでいます。

現在、市内では市外と往復する路線バス、市内を循環するコミュニティバス、福祉バスなどが運行しており、コロナ禍前は、年間20万人程度が利用していましたが、外出自粛などの影響で大きく減少しています(表1)。

市では、国・県の補助などを活用しながら、路線バスの運行経費の一部を負担しているほかコミュニティバス、福祉バスを運行し、交通手段を確保しています。利用者が減少に加え、燃料費や車両維持費などの運行経費は増加。それに伴い市の負担も増加し、公共交通の維持は厳しい状況が続いています。そこへ減便や路線廃止となると利便性が低下し、さらに利用者が減少するといった「悪循環」に陥ってしまいます。



団員募集中！
スポ少と一緒に活動しませんか？

市スポーツ少年団では、現在11競技46団711名(令和4年3月現在)の団員が所属し、活動を行っています。



↑市ホームページはこちらのQRコードから

「野球やサッカーなどのスポーツをやりたいと言いました」、「子どもにスポーツを好きになってほしい」、「家庭であまり会話がないような気がする」など、このような時、スポーツ少年団がお役に立ちます。

市ホームページで各スポーツ少年団を紹介しています。見学・体験など、お気軽にお問い合わせください。

団員募集しています！

スポーツ少年団とは

スポーツ少年団は、日本最大の青少年スポーツ団体で、スポーツを楽しみながら、様々な活動を通して協調性や創造性を養い、社会のルールや思いやりのこころを学ぶ青少年の育成の場です。



ニュースポーツしてみませんか
スポーツ推進委員の活動紹介

スポーツ推進委員は、各小学校区などから選出された21人で活動しています。活動内容は、各運動教室の講師や、各種スポーツ大会の運営などです。

会の運営や補助、ニュースポーツの指導・普及などを行っています。

ニュースポーツとは

ニュースポーツは、子どもから高齢者まで「誰でも」、「いつでも」、「どこでも」、「気軽に自由に楽しめる」ということをコンセプトとしたもので、年齢や体力差など関係なく楽しむことができるスポーツです。

出前講座を受付中

講師の派遣依頼をいただければ、高齢者学級や家庭学級などに伺い、さまざまな希望に合わせて、出前講座を開催します。事業所のレクレーションなどでも活動できますので、運動のきっかけづくりにぜひご利用ください！

ニュースポーツについて知識のない場合も、推進委員が受講者の年齢層に合わせた競技を選んで開催することが出来ます。まずはお気軽にお問い合わせください。